

消防団協力事業所 表示証を交付

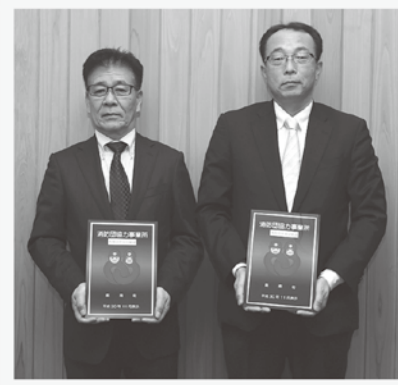
1/29
火

引き続き消防団の活動にご理解、ご協力をお願いします。

飯南町消防団に積極的に協力している事業所や団体に対して交付している「消防団協力事業所表示証」を、有限会社渡辺建設、有限会社景山建設に交付しました。

この表示証は、従業員が行う消防活動への配慮や、災害時に事業所の資機材等を消防に提供するなど、消防団活動に積極的に協力している事業所に町が交付しています。

地域の安心・安全に欠かせない消防団の活動には、地域や企業、家庭など、各方面の協力が不可欠です。



(有)渡辺建設 代表取締役の岩本弘一さんと、
(有)景山建設 代表取締役の景山幹雄さん

教育委員会委員を任命

教育委員会委員に、熊谷高暢さん(頓愿を再任しました。任期は、平成31年2月11日から4年間です。教育委員の構成は次のとおりです。

氏 名 任期満了年月日
熊谷 高暢さん(平成35年2月10日)
烏田 勝信さん(平成32年2月10日)
高田 紀子さん(平成33年2月10日)
小野田 知子さん(平成34年2月10日)



熊谷高暢さん

第4回ヒトカラhitocolor イナン

1/20
日

あなたも発明家に



各グループごとにアイデアを発表

今回は、「地域づくりアイデアづくり」をテーマに、参加者それぞれが飯南町で実現してみたいことを話し合いました。

参加者からは、自然豊かな飯南町の特長を生かして、双方向的な転地療法(※)を展開するといったアイデアが聞かれました。



回を重ねるごとに、傾聴を踏まえた対話が自然と実践できるように

地域活性化センターの小嶋敦夫さんは、「やりたいこと、できること、求められていることが重なる取り組みが地域づくりに繋がっていく」と話し、塾生は熱心に耳を傾けていました。

今回のテーマは「アイデアづくり3回転3回ひねり」。今回生まれたアイデアがどのように磨かれていくのでしょうか。

※転地療法：仕事や家庭などの日常生活を少しだけ離れることで、自分だけの時間に入り、疲れを癒すこと(森林セラピーや温泉など)

消防出初式

1/13
日

気持ち新たに 地域の安全・安心を守る

平成31年消防出初式を、赤名地区で開催し、196人の消防団員が出動しました。

初めに、町長に出動人員を報告し、昇格者・任命者に辞令を交付。その後、沿道の皆さんの声援を受けながら、分団ごとに隊列を組み、赤名連担地を力強く行進しました。赤名農村環境改善センターで行われた式典では、各種表彰などを行いました。



訓辞を行う澤田団長

澤田秀樹団長は、「昨年は、4月の島根県西部地震や7月に発生した西日本を中心とした豪雨災害など、全国各地で災害が発生した。災害の恐ろしさを思い知らされるとも



士気高く集まった消防団員



赤名の街中を力強く行進

に、いつ、どこで起こっても不思議ではないということを改めて痛感した。団員が協力して、町民の皆さんの安全・安心を確保できるよう、団員諸君の協力をお願いしたい」と訓辞を述べました。

二十歳の君に

2/12
火

10年後の私へ

10歳になる小学4年生に、将来の夢を語ることを通して、ふるさとへの愛着を育んでもらおうと、「二十歳の君に」と題した、2分の1成人式を開催しました。

出席した42人の子どもたちは、将来の夢や夢の実現に向けて頑張っていることなどを書いた、10年後の自分自身に宛てた手紙を発表。それを聞いた子どもたちは、「失敗してもあきらめずに頑張つてほしい」「私も夢に向かって努力したい」などと感想を話していました。



一人一人が20歳の自分自身に、頑張ることを誓いました

和田勝祥さん医療功労賞を受賞

長年にわたり、地域に密着して医療・福祉の向上に貢献した医療従事者を表彰する「第47回医療功労賞」を、和田医院院長の和田勝祥さん(赤名)が受賞しました。(読売新聞社主催)

和田さんは、「最も住民に近い距離感で、夜間の急診や訪問診療など、柔軟に医療を提供できたことは『まち医者』の本懐。地域に暮らす皆



和田勝祥さん

さんの健康と笑顔のため、これからも頑張りたい」と話しました。